

2022（令和4）年度 共同研究（課題）募集要項

国文学研究資料館

1. 共同研究の対象

日本文学に関する研究基盤の整備拡充と研究成果の発信を目的として、共同研究「国文学研究資料館松野陽一文庫の基礎的研究」の参加者を募集します。

【松野陽一文庫の概要】

国文学研究資料館（以下「当館」という。）の松野陽一文庫は、当館元館長で中近世和歌史の研究者であった松野陽一（1935－2018）の旧蔵書全485点から構成されます。その中核は歌書、それも古写本に恵まれた千載和歌集のコレクションと、江戸堂上派および松平楽翁文化圏の関連書目ですが、また、西川祐信絵本や人情本・合巻などの近世小説も収められています。

本共同研究では、松野陽一文庫の書誌調査に基づいて主要作品の「解題」を作成することを基本的な取り組みとし、なお学術論文や翻字の公刊などを目指します。作成した「解題」は、当館のWebサイトから署名原稿として公開するほか、最終年度（2024年度）に当館で開催する予定の「松野文庫展」（仮称）にも活用します。

当館での研究会に合わせて資料を熟覧する機会を設けますが、個々の研究は基本的に全文画像（デジタルデータ）を用いて進め、参加者がネットワーク上でオープンに知見を交換する形で実施します。松野陽一文庫の「リスト」は当館のWebサイトで確認してください。

なお、館内担当者（アドバイザー）は渡部泰明（館長）と神作研一が務めます。

【参考】海野圭介・小川剛生・落合博志・神作研一編「国文学研究資料館所蔵松野陽一文庫分類目録」（浅田徹ほか編『和歌史の中世から近世へ』所収、花鳥社、2020年）

2. 申請資格

申請資格は、次の（1）（2）（3）のいずれかに該当する者としてします。

- （1）大学及び研究機関に所属する常勤の研究者
- （2）上記（1）以外の研究者（非常勤講師・日本学術振興会特別研究員等）
- （3）博士後期課程に在籍する大学院生

※採択にあたっては、若手研究者（2022年4月1日現在で37歳未満）及び大学院生を優先する場合があります。

※ただし、次の①～②のいずれかに該当する者は申請できません。

- ① 2022年度に実施する当館の他の共同研究の研究代表者
- ② 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)で資格停止の措置を受けている研究者

3. 研究組織

「研究分担者」（申請者）の集合体により構成します。

「研究代表者」は、「研究分担者」の中から互選で選出します。研究代表者は、「館内担当者」（アドバイザー/渡部泰明・神作研一）とともに、研究会の開催等、本共同研究の円滑な推進に務めます。

4. 研究期間

2022年4月1日から3年間とします。

5. 募集人数

12名程度

6. 研究経費

ひとり当たり各年度10万円程度。ただし、実際の交付額は減額調整する場合があります。

消耗品等を購入するための物品費、調査や研究会等の旅費、複写費等の経費として使用できます。

※研究経費は、「研究代表者」及び「研究分担者」に送金せず、当館において経理をいたします。そのため、経費として使用できる範囲は、物品等の納品確認等が、当館において可能なものに限られますのでご留意願います。

※研究経費は、人間文化研究機構（以下「機構」という。）及び当館の規程その他の定めに従って使用していただきますので、使用に際しては事前に当館研究協力・国際連携係にご確認願います。

7. 施設等の利用

「研究代表者」及び「研究分担者」は、共同研究の遂行のために、当館の施設、設備を利用することができます。閲覧室は、「館内者」として利用できます。

8. アドバイザー

当館の教員2名が共同研究のアドバイザーとなり、共同研究の運営・予算執行等についての助言を行います。

9. 申請手続き

(1) 申請者は、本「募集要項」を熟読の上、所定の様式を当館ホームページからダウンロードして申請書類を作成してください。

https://www.nijl.ac.jp/activity/research/joint_research/joint_research_offer.html

(2) 申請者は、勤務先の兼業規程等を確認の上、作成した申請書類に関して申請者の所属長の承認を経た後、所属長の「承諾書」（A4で1枚、様式任意 ※記載例の添付アリ）とともに申請書類一式を提出してください（該当者のみ）。

(3) 博士後期課程に在籍する大学院生の場合は、指導教員の「推薦書」（A4で1枚、様式任意 ※記載例の添付アリ）を併せて提出してください（該当者のみ）。

10. 申請書類

(1) 「2022（令和4）年度国文学研究資料館共同研究（課題）計画申請書」
電子データ（Wordファイル）・・・・・・・・・・・・・・一式

(2) 兼業規程上、所属長の承認が必要になる者は、所属長の「承諾書」電子データ（PDFファイル）・・・・・・・・・・・・・・一式

(3) 大学院生は、指導教員の「推薦書」電子データ（PDFファイル）・・・・一式

11. 申請書類の提出方法

申請書類は、電子データにて【study-ml（あつと）nijl.ac.jp】宛てにお送りください。その際、件名は「共同研究（課題）応募」としてください。メール送信後、一週間以内に返信がない場合は電話【050-5533-2911】（研究協力・国際連携係直通）にてお問い合わせください。

12. 申請期限

2021（令和3）年11月24日（水）午後5時（必着）

13. 採否及び採否結果の通知

(1) 採否は、当館の「共同研究委員会」の審議を経て当館館長が決定し、2021年12月末を目処に、その結果を申請者にメールで通知します。

(2) 採否の判定は、提出された「計画申請書」に基づき、5段階の評価区分（5：特に優れている、4：優れている、3：良好である、2：やや不十分である、1：不十分である）により行います。

(3) 採択結果について、当館ホームページ上で、①採択された申請者名、②応

募人数、③採択人数を公表します。

(4) 採択された申請者には、当館の「共同研究員」としての委嘱を別途行います。

14. 研究成果の公開及び報告

- (1) 本共同研究で作成した「解題」は当館のWebサイトから公開するほか、当館で行う予定の展示にも活用します。「解題」の著作権および公衆送信権等については当館に譲渡してください。※解題提出時に手続きをいたします。
- (2) 「解題」以外の研究成果について、学術誌に論文等を掲載する場合は、当館が実施した共同研究の成果であることを明記してください。
- (3) 最終年度（2024年度）には、研究成果の一環として、当館展示室において「松野文庫展」（仮称）を開催します。そのための経費は別途措置します。
- (4) 「研究代表者」は、各年度末に「共同研究年次報告書」を作成し、それぞれ所定の期日までに当館に提出するものとします。

15. 公的研究費の不正使用防止等に関する取り組みへの協力

機構では、文部科学省が定めた「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」及び「研究活動の不正行為への対応等に関するガイドライン」の趣旨に鑑み、機構における不正防止体制等を整備し公表しております。

<http://www.nihu.jp/ja/opendoor/fusei>

「共同研究員」は、共同研究を行うに当たって、機構及び当館の規程その他の定めを遵守しなければなりません。また、機構及び当館が実施する不正防止に関する取り組みや監査等に協力していただきます。

なお、「共同研究員」の委嘱の際に、公的研究費の不正使用防止に関して「誓約書」の提出をお願いしております。

16. 申請書類に含まれる個人情報の取扱い等

本募集に関連して提出された個人情報については、審査の目的に限って利用し、審査終了後、全ての個人情報は責任を持って破棄します。

17. 問い合わせ先

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 管理部総務課 研究協力・国際連携係

電話 050-5533-2911（直通）

FAX 042-526-8604

e-mail study-ml(あっと)nijl.ac.jp

※スパムメール等の対策のため、e-mail アドレスには、「@」の代わりに「(あっと)」を入れております。メール送信の際は、「(あっと)」を「@」に換えて送信してください。

★当館は、「国文学研究資料館におけるダイバーシティ宣言」に基づき、ダイバーシティに関する取り組みを推進し、採用を行います。